



WEEKLY REPORT

FUJIEDA ROTARY CLUB

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2620

第1515回

例会：毎週水曜日
小杉苑
藤枝市青木2-2-48
TEL 054-641-3321

事務局
藤枝市青木1-9-16
TEL 054-647-2300
FAX 054-647-2040

Bhichai Rattakul
RI President, 2002-03

2002-2003年度RIテーマ：慈愛の種を播きましょう
松葉会長テーマ：会員相互の友情と連帯を深めよう

会長：松葉義之 副会長：渡辺篤司 幹事：村松英昭 副幹事：小宮弘一郎



困っている人に助けの手を差し出さない。
いつか、あなたも同じように助けられるかもしれない。

会長報告

松葉 義之君

今年のお正月は例年と異なりゆっくりテレビを見る時間が取れました。いくつかの場面や言葉が大変心に残りました。NHKの番組「その時歴史が動いた日本開国・黒船来航150年」です。1853年アメリカのペリー提督が日本側の代表林大学頭と苦勞の末『日米和親条約』の締結に成功しました。そのあとしばらく日本に滞在して多くの日本人、特に高い技術を持つ職人達と交流しこの時の事をペリーは「日本遠征記」に日本の将来を予見して次の様に書いています。

『日本人が、一度文明世界の過去および現在の技能を所有したならば、強力なライバルとして近代工業の成功をめざす競争に加わるであろう。日本人は順応的であり素直な人々である。彼等の国は間もなく最も恵まれたる国々の水準にまで到達するであろう』と。

次に「日本開国・米側の虚為を見抜け日本全権」を見ました。和親条約の後欧州勢に先がけて日本との通商条約を締結すべく1855年タウンゼント・ハリスが来日しました。日本側全権の井上清直・岩瀬忠震との間で激しい遣り取りと交渉が繰り返された後1858年(安政5年)ようやく『日米修好通商条約』が締結され日本が世界の仲間入りする第一歩となりました。

時代が明治に変わり政府特使として渡米した岩

倉使節団の前に老いたハリスが現れてしみじみと次のように語りました。『通商条約交渉の時、井上・岩瀬の両全権は綿密に草案を審議し時には私を閉口させた。かれらの激しい議論の為に私はしばしば草案を修正しその主意までも改めた所が少くない。こうした全権を持った日本は本当に幸福であった』と。

また正月テレビ「辞めたか亭主殿 - 小栗上野介」(原作 大島昌宏著「罪なくして斬らる - 小栗上野介」)も感動しました。彼は日本の将来を見据えて近代化、特に艦船の国産に情熱を傾けた。夢に描いた横須賀造船所第1号ドックは慶応3年(1867)着工、明治4年(1871)完成。この間倒幕軍との戦いの中徳川慶喜の爆破命令に対しては主家の思惑、主従の定めを乗り越えて“日本の将来の為に”と身命を賭してこのドックを護った。このドックは130年経った今も現役として活躍していると報じられ胸を打たれました。

近年日本の状況が憂慮されています。特に政治家、官僚の視点や志向そして行動が必ずしも頷けない事が多い昨今なおさらに心を打たれた事かと思えます。

先週私用で東名を東京往復しました。土日とはいえ車両の少なさに驚きました。経費削減の為に一般道に迂回し種々問題を発生させています。実情を見て、国有化とか何か手は打てないものかと強く感じました。

■ 理事会報告

村松 英昭君

1. 2月、3月のプログラムが承認されました。
2. 2月22日、IMがホテルアソシアで開かれます。出席義務者の方はよろしくお願ひします。
3. 江崎友次郎君より出席規定の適用免除願が承認されました。
4. 望月志郎君の入会が認められました。
5. 南校インターアクトクラブの卒業生6名をおくる会を2月8日に開きます。

■ 幹事報告

村松 英昭君

1. 米山記念奨学会より免税申告用領収証がおくられてきました。
2. 全日本ロータリークラブ会員名簿手帳のお買い上げのお願ひがきています。

■ 出席報告

酒向 謙次君

本日のホームクラブ 出席者	前回の補正出席者
32/43 74.42%	36/44 81.82%

(1)欠席者(事前連絡とメーカーをどうぞ)

小西君 杉山君 橋本延君 松壽君
桜井富君 橋本守君 村松弘君 池谷君
板倉君 鈴木舜君 仲田晃君

■ ビジター

巻田 芳郎君(焼津南)

■ スマイルBOX

小宮弘一郎君

- 会員誕生 望月 晃君
- 家内の誕生祝をありがとうございます。
柳原 寿男君
- 2月10日は妻のたん生祝いです。
桜井 龍太君
- 結婚記念 小林 治助君
- 結婚59回目を迎えて 宮崎啓之進君
- 第2620地区インターアクト委員を拝命致しました。インターアクトの活性化に努力する所存です。
青島 克郎君
- 卓話の機会を頂き感謝を込めて
江崎友次郎君

スマイル累計額 628,000円

■ 卓話

江崎友次郎君

[商工会議所の活動理念]

わが国の経済社会は今、国内的にも国際的にも数多くの難問に直面し、歴史的ともいえる転換期を迎えています。

商工会議所は、地域経済社会の環境変化に対応した役割と責任を自覚し、中小企業の経営基盤強化と経営革新に、取り組み支援しています。地域における経済発展および、伝統継承、文化創造の担い手としての中小企業の一層の活性化を図るべく、中小企業を支援し自助努力、自己責任に対する意識改革を促し、商工会議所役員・議員・職員一丸となって新時代に対応した組織、運営を実現する為、力強く活動しています。

藤枝商工会議所の現状は、会員数、2,268事業所となっており、全事業所・組織率は、43.6%です。

各種講演会、講習会・会員への金融対策協力、又、市・県・国へ、政策提言を行っています。(藤枝西高跡地利用、バイパスの無料化等)次に、平成15年1月に、商工会議所が行いました、業種別経済動向に付いてご報告いたします。

● 製造業

<製茶関連>

需要は落ち込んでいる。前年同期比(第3四半期)で3%前後の売上減少。

<椎茸関連>

前年同期比(第3四半期)で5%の売上増加。

取り扱い、国産4割、国外6割。

<金属・鉄工関連>

前年同期比で、3%前後の売上減少。全般的には、受注はあっても低単価のため、採算割れが生じている。

<家具関連>

10%前後の売上減少、受注量の減少は続く。

<プラスチック関連>

売上高、受注量とともに、減少傾向。さらに厳しい状況になると予想される。

● 小売業

小売業全般で、7%~10%の前後の売上が減少。価格競争の激化により経営が厳しさを増している。

<建設業>

10%前後の売上減少。受注競争はますます激化。